

# 英語を楽しく

No. 5 5

26, May

## ☆ 日本語が先？英語も？

「小学校に英語活動を」という話題の要不要の議論の多いけれど、日本語の充実した能力があってこそ、英語力も高まる。でも、英語の早期教育は、正確な発音を身につけるためには不可欠。どちらも大切と思うのですが、今のところ、この2つのことを満足に可能にする方法はないようです。

でも、現在、英語を話せる人はたくさんいますね。それは、なぜでしょうか？答えは簡単。英語を勉強したからです。それをしたわけは外国に関心があった、英語を学ぶ環境があった、といろいろな理由があるでしょう。ただ、英語を小学校で一齐に指導するには、やはり、学ぶ者が楽しいおもしろいという感情を持てるようにすることがいちばん重要だと思います。そうすれば、子供は、どんどん英語を吸収していくのではないのでしょうか。そして、児童が英語に関心・興味を持つ環境作り。これは大人の役目だと思います。

## ☆ 英語の習得のために英語のことだけを学習するのはだめ。日本語でしっかり物事を考えられる力が英語力となって表れる。

例 A氏とB氏の二人が町で合ったときの会話

- A 「どうも、お久しぶり、君のことはよく噂で聞いているよ。」①  
B 「そうですか。どうしようかなあ。」②  
A 「何言っているんだい。きみはなにをしてもすばらしいよ。」③  
B 「ありがとう、でも、いつも苦勞してるよ。」④

上の話の一部を英訳すると

(下線部の言い方を 下の日本語のように考えてから英語化します)

- |                 |   |                             |
|-----------------|---|-----------------------------|
| ① 君のことよく聞いているよ  | → | I've heard a lot about you. |
| ② いい噂であってほしいなあ  | → | Only good things, I hope.   |
| ③ 君はいつも 完璧だよ    | → | You are always perfect.     |
| ④ 僕は、いつも努力しているよ | → | I've been making efforts.   |

日本語の意味を英文にすると、  
左の英文になるでしょう。でも、  
それが英文になることも多い、  
です。それは、訳す人の考えによる  
がらう。

英会話中は、

「元の日本語の意味を自分が知る英語の言い方に取り替える」ことで英会話

会話の中で、一つの文をどのように英語訳するか日本語訳するかは、日本語の力によると言ってもいいのではないかと思います。



Yoshi